

# HandyTone386 の設定マニュアル

## ◆起動

1. HandyTone386 本体に LAN ケーブル、及び、PHONE にアナログ電話を差してから、AC アダプターを接続して、HandyTone386 を起動してください。

※DHCP サーバにて自動的に IP が割り当てられます。

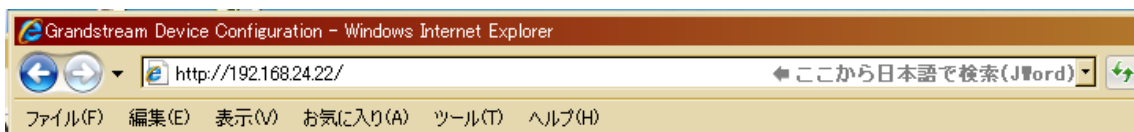
## ◆IP アドレスの確認

1. IP アドレスの確認を行います。
2. PHONE に接続しているアナログ電話の受話器を上げ、[\*]ボタンを 3 回押します。
3. 英語のメッセージが流れたら、[\*]ボタンを 1 回押します。
4. さらに英語のメッセージが流れたら、[\*]ボタンを 1 回押します。
5. 英語の音声で「IP Address xxx.xxx.xxx.xxx」と通知されますので、その IP アドレスをメモ帳などに控えておいてください。

\*) 上手く聞き取れなかった場合は、再度受話器を下ろして、\*\*\*から始めるか、又は AC アダプターを抜いて初めからやり直してください。

## ◆PC からの設定画面の起動

1. PC のブラウザを起動してアドレスバーに上記の 5 で通知された IP アドレスを入力して、HandyTone386 の設定画面を開いてください。



2. “Grandstream Device Configuration”の画面が表示されたら、Password の欄に、[admin]と入力して[Login]ボタンをクリックして下さい。HandyTone386 の設定画面を起動することができます。



3. [BASIC SETTING]で、Time Zone で、東京時間を選択してください。

## ◆SIP 設定

- 次に、SIP サーバに接続するための設定を入力していきます。
- ログインして表示された“Grandstream Device Configuration”ロゴの直下の[FXS PORT1]をクリックして下さい。
- 下記の赤枠内の設定を行います。ひかり電話などの場合は、VoIPアダプターかCTU等の場合は、そのアドレスを設定してください。

Grandstream Device Configuration

STATUS BASIC SETTINGS ADVANCED SETTINGS **FXS PORT1** FXS PORT2 CALL PROG TONES

SIP Server: sip.agile.ne.jp (e.g., sip.mycompany.com, or IP address)

Outbound Proxy: sip.agile.ne.jp (e.g., proxy.myprovider.com, or IP address, if any)

SIP User ID: 8581716 (the user part of an SIP address)

Authenticate ID: 8581716 (can be identical to or different from SIP User ID)

Authenticate Password: (purposely not displayed for security protection)

Name: 8581716 (optional, e.g., John Doe)

Use DNS SRV:  No  Yes

User ID is phone number:  No  Yes

SIP Registration:  No  Yes

Unregister On Reboot:  No  Yes

Register Expiration: 60 (in minutes, default 1 hour, max 45 days)

local SIP port: 5060 (default 5060)

local RTP port: 5004 (1024-65535, default 5004)

Use random port:  No  Yes

DTMF Payload Type: 101

Send DTMF:  in-audio  via RTP (RFC2833)  via SIP INFO

Send Flash Event:  No  Yes (Flash will be sent as a DTMF event if set to Yes)

Enable Call Features:  No  Yes (if yes, start codes will be supported locally)

Use Bell-style 3-way Conference:  No  Yes (if Yes, \*23 will be disabled)

- 設定が終了したら [Update] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。
- 次に[FXS PORT2]についても同様に設定を行い、[Update]を行います。
- すべての設定が終了したら、設定を適用するために再起動を行います。[Reboot]ボタンをクリックして下さい。クリックすると HandyTone386 本体が再起動します。

## ※ 留意事項

以上で設定は終了となります。

正しく発着信できるかどうか確認してください。